

3

働く場所を確保し、多様な就労のための環境をつくりまします

企業誘致において、区画の早期完成に向けた取り組みを進めます。

また、「あやの台北部用地」第2次事業について検討を進めるとともに、地元雇用の推進や働く場所の確保を通じて若者世代などの定住を支援し、さらに就労や起業を契機とした移住の促進を目指します。加えて、市内事業者のニーズを把握し、各種課題に応じた支援を行うことで、多



▲あやの台北部用地



▲はしもとで働く人と未来を考えるガイドブック

様な就労のための環境づくりに努めます。

4

交流拠点の整備を行い、地域の魅力や資源を最大限に活用します

立地適正化計画を早期策定し、コンパクトで機能的なまちづくりを推進します。

橋本駅前の活性化は、本市のまちづくりにおいて重要な施策であり、民間活力も含めた橋本駅前整備の事業化を進め、活気あるにぎわいの創出に取組みます。

高野口駅周辺においては、地域の皆さんが進める「大正ロマン」をコンセプトとした魅力的なまちづくりを支援し、観光振興と地域の活性化

につなげます。

また、紀望の里ウッドパークの整備、旧学文路中学校グラウンドの活用、恋野地区の地域おこしへの支援など、地域全体の活力を高める取り組みを進めることで、地域住民の皆さんとともに、豊かににぎわいのあるまちを目指します。



▲橋本駅前広場

5

安心・安全な暮らしと生活の利便を支える都市基盤を整備します

市民生活を支える道路や橋、上下水道、ため池などの生活インフラについて、長寿命化対策を推進します。

特に老朽化が進む施設は、適時適切な修繕・改修を実施し、持続可能な都市基盤の強化を図ります。

また、自然災害への備えとして、公共施設などの整備を行うとともに、地域コミュニティによる「顔の見える関係」の重要性をふまえ、自

主防災組織の活動支援や地域単位の防災訓練などを通じて、地域の防災力を有効性のあるものへと高めまします。さらに、消防力の強化にも取組み、安全・安心の確保と、災害に強いまちづくりを進めます。

また、市民の命を守る中核的な医療拠点である橋本市市民病院においては、経営改革を進め、将来にわたり持続可能な形で維持します。

6

未来を担う子どもたちのために、子育て支援をさらに充実します

妊娠期から子育て期までの「切れ目のない支援」としてこれまで実施してきた、医療費助成や保育料の軽減、学校給食費の無償化といった経済的支援を継続するとともに、安心して子育てできる環境の整備に取組みます。

近年、発達の支援や心のケアなど専門的なサポートを必要とする子どもが増加している現状から、教育と福祉のさらなる連携を図り、悩みや不安を抱える子どもや保護者に寄り

添った相談体制を一層強化し、すべての子どもが健やかに成長するための環境づくりに努めます。

さらに、こども園や保育園、学童保育所などへの支援を強化するとともに、「はしっこ！ウエルカムプラン」の展開や、子育て情報サイト「はしもと」、そして橋本市公式LINEを活用した迅速な情報発信を通じて、子育て世代の皆さんが必要な情報を得やすく、利用しやすい環境の整備を引き続き進めます。

8

安全で安心な環境で主体的な学びを育みます

目指す子ども像を「未来を創造し、たくましく生きる」と掲げ、教育環境の質の向上に努めます。

小学校の学校再編や、老朽化が進む高野口中学校の移転・新校舎建設を推進します。

学校現場においては、教育のDX化を推進し、学習環境の整備を図る一方で、複雑化・多様化する教育課題に対しても、教育支援センターの相談体制を強化し、安心して相談できる環境を整備します。また、学校給食センターでは、食物アレルギー

を持つ児童・生徒に対して安全かつ丁寧な対応を引き続き徹底します。さらに、家庭・学校・地域が連携する「共育コミュニティ」の活性化を図り、地域全体で子どもたちを支援する環境を構築していきます。



▲共育コミュニティハンドブック



▲教育支援センター

7

生活支援体制を向上させ、誰ひとり取り残さない社会福祉の実現を目指します

子どもたちの笑顔があふれるまちをつくるため、市民の皆さんとともに、教育・福祉の両面から子育てにやさしいまちづくりを一層推進します。

市民が心身ともに健やかで安心して暮らせる共生社会の実現に向け、誰もが安心して集える居場所づくりを推進します。

市内14カ所の「地域食堂・こども食堂」において、地域全体で温かいコミュニティを育みます。また、健康寿命の延伸に向けた取り組みや買い物支援など、地域に根差した支え合いの仕組みを積極的に支援します。特に、高齢者の移動手段の確保については、地域中心の第2層協議体を通じ、生活支援体制と助け合いの輪を市全体に広げます。重層的支援においては、悩みを抱える人への支援が途切れることのない

いよう関係機関との連携を強化し、継続的な支援を行います。そして障がい者福祉においては、障がいのある人たちが地域社会の一員として役割を持ち、いきいきと自分らしく暮らせる環境の整備に努めます。



▲こども食堂の様子



▲移動支援の様子

副市長の選任について

4月24日の市議会臨時会において、平木市長により指名された小原秀紀が、議会の同意を得て、副市長に再任されました。

就任のごあいさつ

4月の市議会臨時会において、同意をいただき副市長に就任いたしました。



▲市議会臨時会であいさつする小原副市長

再び副市長の責務を担うことになる、その重みを深く受け止めております。

世阿弥の「初心忘るべからず」の言葉を胸に、今後も平木市長を補佐し、市民の皆さまの負託に応えられるよう全力で取り組んでまいります。